

最終回

貧乏といじめに苦しみ、それをはね返した少年時代からクルマの楽しさにどっぷりとつかった高校時代、そしてジャンクションプロデュース代表 武富氏との衝撃的な出会い、さらにはジャンクションプロデュースブティックのオープンから現在まで。上野真幸の七転八起物語、ここに完結！

ジャンクションプロデュースブティック泉南代表
上野真幸・不撓不屈の半生

運命

それは自分で変えるもの



不撓不屈 (ふとうふくつ)
どんな困難に出会っても決して心がくじけないこと

上野真幸

Masayuki Ueno

1974年7月17日生まれ、家族を愛する37歳。座右の銘は「親しき仲にも礼儀あり」。仕事も遊びも全力投球が信条。有限会社ジャンクションプロデュースブティック (JUNCTION PRODUCE BOUTIQUE 泉南) 代表取締役。
■ジャンクションプロデュースブティック泉南
〒599-0232 大阪府阪南市箱作 2129 TEL.072・476・6300

店は、えげつなくくらいデカイほうがいい。

世界各国のカーショーやカーショップなどを見てまわり、広くて大きい店の圧倒的パワーを肌で感じていた俺だったが、当時の店は小さなプレハブ2階建て。そこでひたすらがんばり続け、2年前の夏、ついに満を持して移転。ここが現在のジャンクションプロデュースブティック泉南である。

信頼していたスタッフが2人突然辞めていった

誰もが「何じゃこれ!？」と驚くくらいデカイ、新しいジャンクションプロデュースブティック泉南。100%理想の店舗を手に入れ、店にやってくるお客さんの驚く顔を見ながら、すべては順風満帆に進んでいると思っていた。ところが、間髪入れずに予期せぬ事態が起こった。俺には、片腕とも言うべき信頼するスタッフが2人いたのだが、同じ時期に2人とも辞めていなくなってしまったのだ。

突然のことだった。1人は、俺のことを社長と思うことに疲れたと。どんなに自分がかんばっても社長と同じところに行けない。自分はやはり上野ファンの一員でしかない。だから一ファンに戻る。社長のことは、陰で応援し続けた、そう言うて辞めていった。

もう1人は、ある日突然いなくなつた。完全に音信不通。まったく連絡が取れなくなつてしまった。理由もま

たくわからない。

実際、2人には仕事のほとんどをまかせていた。まさに右腕と左腕。自分の後継者と思って、手塩にかけて育てていたつもりだった。それが、突然いなくなつてしまった。状況がまったく飲み込めない。ここにはもう自分1人、自分だけしかない。それが現実だった。

ショックと不安...でもここが踏ん張りどころ

俺、もうダメかもしれない...。襲ってくるショックと、とてつもない不安。しかし、そんなことを感

自分で舵を切り、全力で進む!! それが運命を変えろということ

じる間もなく、アツと言う間に仕事がまわらなくなつた。ずっと2人にまかせていたから、何がどう進んでいるのか、顧客リストも電話番号も何もわからない。お客さんから電話がかかってきても、実際のところ自分ではまったく対応できない。情けないけど、しょうがない。

これではアカン。スタッフが辞めても、店はまったく大丈夫だということまわりに示さないとアカン。

正直、てんでこまいったけど、このときはここが俺の踏ん張りどころ

次号より、上野真幸 最強の悩み相談ページスタート!!

次号 2012年3月号より、「運命 第2弾」として、ジャンクションプロデュースブティック泉南代表・上野真幸の、最強の「悩み相談」ページがスタートします! 恋の悩み、仕事の悩み、人間関係の悩み...などなどなんでもOK。上野真幸が読者の皆様の相談、質問に全力でお答えします!
〒170-8427 東京都豊島区東池袋 3-7-9 (株) 芸文社 VIPCAR 編集部 または vipmac@geibunsha.co.jp いずれも「運命」係まで。お待ちしております。

ろだと思つた。腹をくぐれば、もう怖いものはない。

よし、やるぞ! クルマ好きならどこからでもかかってこい!!
そこから先はもうガムシヤラという言葉通り。全部の電話を自分が取って、全部の仕事は自分でこなす。とにかく、何もかも自分でやった。

俺がやらなくていい誰がやる?

2人にすべてをまかせず、という感じで仕事をしていって、もちろん大きな期待もかけていた。これからこのブティックを背負ってい

くのはお前たちなんだ、と。世代交代するの、早いほうがいいと思つていた。

でも、本人たちにしてみても、会社も世間も、結局またそういう段階ではなかったということだ。「上野、お前が舵をとれ。お前が舵をとらなくて、誰がこのジャンクションプロデュースブティック泉南という船を正しい方向へ進ませることができんだ?」と、店に言われている気がした。

それは、俺自身がいちばん良くわかつていた。そうだ、俺がやらなくて、い

たい誰がやる!!

ジャンクションプロデュースブティック泉南は大きな船だ。武富社長が乗っていて、大切なお客さんたちが乗っている、俺の大切な船だ。

今はまだ大海原の真ん中 目指すところは遙か先

仕事も航海。人生も航海。今はまだ大海原の真ん中。ここはただの通過点でしかない。目指すところは遙か先。その進むべき先は、決して平穏なところばかりではない。波が時化っている。その向こうには大きな岩が立ちほだかっている。それを越えたら、でっかい台風がやって来るかもしれない。

雨? 嵐? うるさい、そんなもの俺には関係ない!!
時化なんかどうでもいい。岩なんぞ割ってやる。台風が来たら大砲打って蹴散らしてしまえ。それくらい勢いで我が道を進んで行かないと、とんでもない方向に押し流されていって、終いには沈んでしまう。

何かにつづかつたら、自分で考えて舵を切り、全力で進んでゆく。それが、運命を自分で変えていくと言うこと。そう、何事にも絶対負けないと言うことだ...!!

(二)

●次号より、上野真幸の新コーナー「スタート。そう御期待!!」



好評更新中!!
上野真幸の BLOG DESTINY
ブログのキャッチフレーズは、「運命 それ自分で変えるもの」。携帯からもOK。
<http://ameblo.jp/jpboutique/>

今月の上野VOICE: 2012年より一層「コンプリートカーの魅力に迫る!」をテーマに活動していきます。デモカーをそのままトレースしたのがコンプリートカーであり、その魅力は計り知れないものがあります。コンプリートカーについて質問があれば、ジャンクションプロデュースブティック泉南までお電話ください! その際に「コンプリートカーについて質問です!!」と書いていただければ、僕(上野)が直接お答えします!! コンプリートカー質問受付窓口 TEL.072-476-6300